

福袋

2月2日、京都のまちに福がくる——。

京都市がその気になれば、ここまでできる！

暮らし応援

すぐにやります！

4つのパッケージ

ぜんぶやっても、市予算の1%未満

あつたか  
子育て応援  
セット  
(年52.5億円)

小学校のような全員で食べる中学校給食  
(実施も計画もないのは、京都市と亀岡市だけ)

子どもの医療費中学校卒業まで無料  
(2歳までしか無料でないのは京都市だけ)

赤ちゃんにも国保料ひどい！  
子ども(18歳まで)分の国保料(均等割分)は免除

ちょっと  
うれしい若者  
セット  
(年6億円)

返さなくていい奨学金をつくる

奨学金返済の利息分を補助

地下鉄定期の割引率アップ(48→60%へ)

ホクホク  
高齢者セット  
(年12億円)

老人医療費の窓口負担を軽減

(65~74歳の窓口負担2割を1割に)

敬老乗車証は、現行制度を守る

ワクワク  
地域経済支援

地域の公共事業を計画的にすすめ

地元に仕事とお金をまわす

市の発注する事業はまず時給1500円へ

以上合計約年70億円

市の年間予算約8000億円の1%未満です



弁護士  
和人  
福山 ふくやま かずひと

ないのはお金でなく、  
市長のやる気です

プロフィール: 1961年3月5日、京都市伏見区生まれ。宇治市で幼少期を過ごし、府立城南高校では野球部で活躍。立命館大学法学部卒業。2001年に弁護士登録。2015年度に京都弁護士会副会長。2018年京都府知事選挙に出馬。現在、労働弁護団幹事、自由法団常任幹事。ジャトコ偽装請負解雇・雇止め事件、関西建設アスペスト京都訴訟、大飯原発運転差止訴訟などを担当。京都市左京区在住。家族は妻と長女、長男。



LINE登録

はこちら

検索 f t

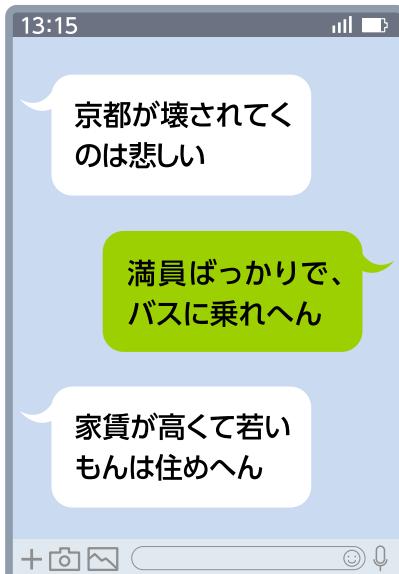
# 僕ら庶民を 幸せにするんが、 ほんまの政治や



福山和人の  
マニフェスト  
こちらへ



「政治は一握りのプロと呼ばれる人や、大金持ちは財界の独占物やない。普通に生きている庶民が主人公や。そういう政治を僕は、京都から創りたい。」



／外国や東京の資本のためにあるんじゃない／

## 京都を取り戻そう

- 京都の景観を守る「新景観政策」を堅持し、大型ホテルなどを呼び込む開発を規制する
- 小学校跡地をはじめとする公共用地活用は、住民の声を聞いて決める
- 観光バス、マイカーの市内部への流入を抑制し、公共交通を抜本充実

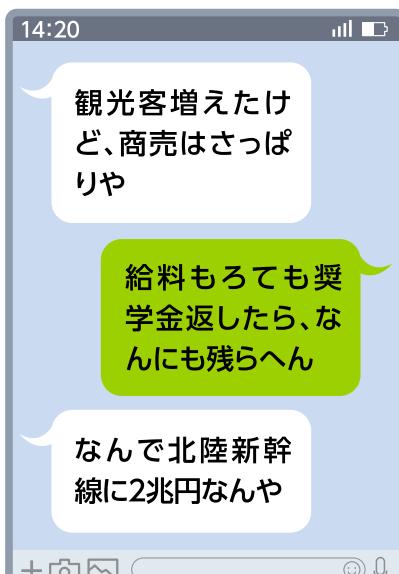


現市長は、

「観光公害」「地価高騰」を広げた

ホテル・宿泊施設の激増。過度なインバウンド目標を掲げ、外国人観光客が98万人(2010年)から450万人に急増、日本人観光客は、2015年比で800万人も激減。

これで京都を守れるの?  
無鄰菴に隣接するホテル建設中止の「請願」に反対



／まっとうに儲かる京都へ／

## 暮らし応援、京都経済を立て直す

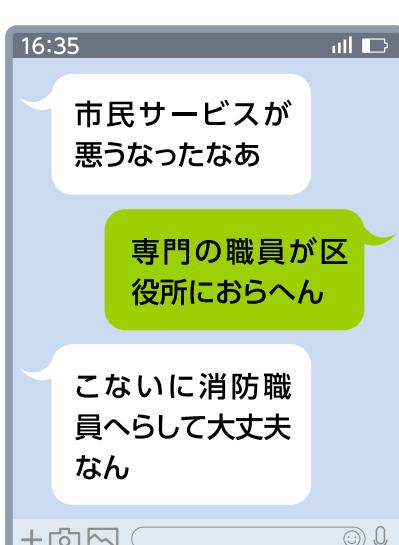
- 京都経済の99%をしめる中小企業、小売業を支援  
⇒ 最低賃金1500円実現で、市民のふところをあたためる
- 公共施設や道路、橋などの老朽化対策、  
防災に強いまちづくりのための公共事業を積極推進  
⇒ 2兆円超えの北陸新幹線「延伸」など、  
大型公共工事はいったん立ち止まり検証

現市長で、

京都経済は落ち込んだ

- 働く人の賃金（雇用者報酬）  
— 10年で2200億円も減少(2006～2016年)
- 非正規雇用率 42%(2017年)  
— 政令市ワースト1位
- 子どもの貧困が進行(7人に1人)
- 中小企業は年平均700件以上も倒産・休廃業に

福祉予算の減額、公営交通の「民営化」を要求。リニア新幹線、カジノ誘致を主張



／市・区役所再生、住民こそ主人公／

## 困ったときに頼れる区役所に

- 区役所にしっかりと人員を確保。財源、権限をうつす
- 市民に開かれた市長室を市役所1階に  
⇒ どんどん現場に出かけ、  
全学区でのタウンミーティングをすすめる
- 市職員による市民生活相談のための「包括チーム」をつくる

現市長のもと、  
市民に遠い市・区役所。  
災害対応も市民に丸なげ

税金・民泊相談・保健衛生などの窓口  
が区役所からなくなり、介護認定給付業務も民間丸なげで130人を雇い止め。

消防職員10年で2割も削減、  
消防出張所2カ所廃止、さらなる削減に悲鳴が。緊急避難所も市民まかせ。

元京都党の人

「今の約半分の予算で運営する  
ことができる」とリストラを容認  
(「京都が観光で滅びる日」)